さいたま市立内谷中学校

白いノート

教育目標　・進んで学ぶ　・心豊か　・たくましく

令和６年１月９日　　さわやか相談室　℡ 048-865-7573

〒336-0034　さいたま市南区内谷 6-10-1　℡ 048-861-7571　http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp

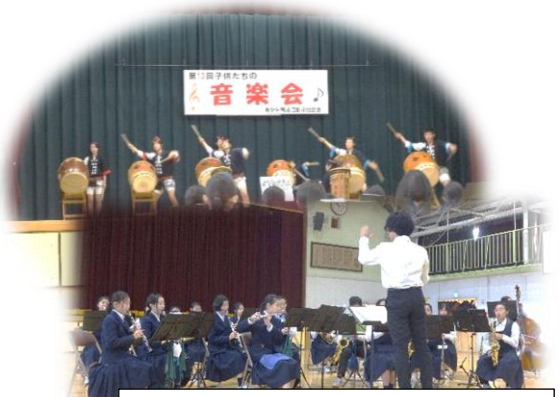
ボランティア活動を通して

校　長　髙山　俊介

謹んで新年のご挨拶を申し上げるとともに、能登半島地震で被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、保護者・地域の皆様におかれましては、これからが冬本番となり、感染症の流行が引き続き懸念されますので、ご自愛ください。

さて、早いもので本年度もまとめ・来年度に向けての0学期となりました。コロナ禍から、日常に戻りつつある学校生活では、多くの学校行事を全校生徒が主役となって充実した内容で行うことができました。（「白いノート10・11月」にて掲載）また、PTA行事や地域で催された行事もコロナ禍前のように開催され、内谷中ボランティアなどとして多くの生徒が参加をさせていただきました。

この内谷中ボランティアは、昨年度より設置した学校運営協議会の熟議により、本校の生徒たちに身に付けさせたい力を「これからの社会を主体的に生きる生徒の育成」とし、発足させた制度です。今年度からは、依頼をいただいた後、校内での募集や名簿作りなどを生徒会の生徒が中心となって進めています。昨年度は、年度途中の10月からの活動だったものを、今年度は、年度当初から活動し、主催団体の皆様からは、「中学生が主体的に行事運営に取り組んでくれたり、とてもよく働いてくれたりして大変助かった。」「冷たい風の吹く中、駅前の募金活動において若い力を発揮し、短時間で多くの成果をあげてくれた。」などの称賛の声をいただきました。また、ボランティアに参加した生徒たちからは、「地域の人など、子どもから大人まで幅広い人たちと交流できてよかった。」「運営する側の大切さについて知ることができた、やりがいを感じた。」「人の温かさに触れることができてよかった。またこのような機会があれば参加したい。」などの感想がきかれ、活動により称賛され、役に立ったことを実感することで自己肯定感や社会に貢献する知識や態度が高まる貴重な体験となったようです。



「第１３回子供たちの音楽会」より

お陰様で、第3学年の「全国学力・学習状況調査」（R5.4.18 実施）における、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」という問いに対して、肯定的な回答がほぼ全員という結果でした。これも、ひとえに日々のご家庭での教育や地域の皆様の温かい見守りを土台とした学校での教育活動やボランティア活動時の教えなどの三位一体となった成果であると有難く思います。

引き続き、家庭・地域の皆様にご支援賜り、「地域とともにある学校」コミュニティ・スクールとして学校・家庭・地域が一体となって発展するために「これからの社会を主体的に生きる生徒の育成」に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。